

対象年度	令和 5年度						総合計画実施計画策定及び行政評価シート							
事務事業名	観光情報発信事業						予算事業名	観光情報発信事業費						
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令						
			07	01	05	1105	経常経費							
総合計画体系	歴史と自然を育み にぎわいと活力ある産業を目指そう 地域資源を活用したにぎわいと交流の促進 地域資源を活用した観光の振興						事業の区分	主要事業						
							担当課係等	商工観光課 観光係						
事業期間	継続 (年度～ 年度)													
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】						【事業開始のきっかけや他市の状況など】								
本市を訪れる観光客に対し、情報の充実化、取得の容易さを目指し、観光情報発信や基盤整備の充実を図るとともに、本市独自の観光資源を活用した誘客事業を実施する。わかりやすい観光地等の評判が確立され、観光客が増加する。						商業観光振興計画に基づき、様々な観光情報の発信、コンテンツの実施を行う。事業開始の根拠は、インバウンドや旅行需要の高まりによる。他市の状況はあまり参考とならない。								
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】						【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】								
観光資源発信業務や誘客イベントの充実化を行う。年次計画により複数年かけて、ボトムアップを達成する。						本市を訪れる観光客、市内観光スポット								
						【事業をとりまく環境の変化】								
						観光客の誘客合戦の激化により、魅力ある観光地の確立、おもてなし感を充実させることは観光行政にとって急務となっている。選ばれる観光地、満足度が高い観光地となるために、求められるハードルは年々高くなってきている。								
【令和 5年度 事業内容】				【令和 6年度 事業内容】				【令和 7年度 事業内容】						
<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的コンテンツ事業 (どうする家康) ・ARコンテンツ活用事業 (カード印刷) ・DC対応事業 				<ul style="list-style-type: none"> ・蔵美術館10周年事業 ・歴史的コンテンツ事業 				<ul style="list-style-type: none"> ・独自の資源を活用した事業 						

■ 事業費

		R03年度	R04年度			
財 源 内 訳	国 庫 支 出 金	0	20,500			
	県 支 出 金	0	0			
	地 方 債	0	0			
	そ の 他	0	0			
	一 般 財 源	2,693	3,623			
歳 入 計 (千 円)		2,693	24,123			
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)	金額 (千円)	金額 (千円)			
	12 委託料	2,693	24,123			
歳 出 計 (千 円) (A)		2,693	24,123			
伸 び 率 (%)			795.76			
備 考						

令和 3年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		R03年度	R04年度	R05年度
活動 指標	イベントの実施	実施	目標	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	0.00	0.00
	大河ドラマ「鎌倉殿の13人」放映に伴う結城朝光のPR	事業	目標	1.00	0.00	0.00
	PR事業全般		実績	1.00	0.00	0.00
成果 指標	観光客数	人	目標	450,000.00	500,000.00	550,000.00
	観光入込客数		実績	377,200.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	昨今の観光客の獲得競争を考慮すると、積極的な自治体独自のコンテンツの提供を行うことは必要不可欠である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政が主体となり行うべき事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	独自のコンテンツを実施するにあたり、アイデアの提供や実施コンテンツの磨き上げといった分野において、専門知識を持つ事業者に委託を行うことは妥当であると考えられる。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	独自のコンテンツ事業を開始して間がないことから、今後に向けて効率的な事業展開を模索する。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	観光客の増加が経済の活性化につながり税収の増加につながるため、最終的な受益者に偏りはない。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	今後も歴史的資源を中心としたコンテンツの実施を企画していることから成果向上の余地は大きいにある。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	毎年の積み重ねが本市の知名度を高める。新しいコンテンツの実施に向けて進捗は順調である。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
磨き上げたコンテンツの提供、情報発信は新規訪問客層の獲得に向け意義のある事業であると評価できる。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
誘客層の絞り込み、ターゲットの分析、効果があるPR手法の研究などを行い、効果的なコンテンツの実施を行う。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置
方向性の具体的内容 令和3年度より新規事業を展開しており、継続かつ内容の充実が重要である。他市にない本市が持つ観光資源の磨き上げを行い、積極的に情報を発信することで観光誘客を図っていく。
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））
<input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。